



アスンシオン通信

日付: 2024年11月14日 no.17

発行者: 田邊紘起

iHola !¿ Como están?

11月7日のオンライン交流会では、先生のパラグアイのお話を聞いてくれてありがとうございました。みんながたくさん反応しながら聞いてくれたので、とてもうれしかったです。みんなの感想や新しい質問が届くのを楽しみにしていますよ。それから、まだまだ「ここが知りたい!」「これを調べて欲しい!」などの希望があれば、いつでも受け付けているので、どしどしお知らせください。待っています。

日本の祭りと比べてみれば…

前回のアスンシオン通信では、パラグアイで行われた日本祭りの様子をお伝えしました。出店やステージ発表、盆踊りなど、日本の祭りと同じようなものが多く、イメージしやすかったと思います。

今回は、パラグアイらしいお祭りに参加した様子を紹介します。その名も「エンパナーダフェス」です。エンパナーダというのは、大きな餃子のような見た目で、惣菜パンのような食べ物です（エンパナーダの種類や味は次号でお伝えします）。このフェス、どんなお祭りだと思いますか。フェスの会場をぐるりと囲むようによく似た雰囲気のとんぼが並んでいました。参加しているたくさんのお店は、どれもエンパナーダを売っています。会場にずらりと並んだ店全てがそれぞれ自慢のエンパナーダを売っていました。最初は、エンパナーダ屋さんがこんなにたくさんあることに驚きましたが、そのあと店をいろいろのぞいて、いくつか買って食べ比べをしてみました。どの店のエンパナーダも、とてもおいしかったです。





ずらりと並ぶエンパナーダ屋さんのテント=costanera de asunción

会場にはステージがあり、マジックショーやバンドの演奏もやっていました。下の写真はその時の演奏の様子ですが、日本ではあまり見ない楽器を奏でながら歌うミュージシャンがいました。これは「アルパ」という楽器で、「ハープ」と呼ばれる楽器の仲間です。最初見た時は「激しい演奏に合うのかな?」と思っていましたが、実際はとてもキレイな落ち着いた音色で、演奏とぴったり合っていて素敵でした。



アルパを演奏しながら歌うミュージシャン=同上

昼になって気温が上がり、長い時間その場にいることはできませんでしたが、現地のフェス（お祭り）を体験し、楽しく過ごすことができました。日本祭りとは全く雰囲気は違いましたが、活気のあるパラグアイらしいお祭りもいいなと思いました。

こんなところに、みつけた！

スーパーに行った時のこと、何となく野菜コーナーをながめていると、なんと日本語の表示を見つけました。それはアスパラガスに巻いてあるラベルです。日系人が栽培して販売されているもののようですが、はるか異国の地で日本語に接するとほっとします。日系人は数十年前からパラグアイに移住し、未開だった土地を開拓して農業を始め、パラグアイの発展のために貢献された方々が多く、今では大豆類（みそ、醤油、納豆、もやし、豆腐）なども、パラグアイのスーパーでふつうに買うことができるようになっていました。農業を発展させた日系人の努力のおかげで、パラグアイの大豆生産量は世界第6位にまでなり、パラグアイの人は、「パラグアイに住む日本人（日系人）は地道に努力を続ける人たちで、パラグアイの発展のために頑張ってくれた。」と高く評価しているそうです。だから、親日派のパラグアイ人も多いようです。



「新鮮やさい」と書かれたラベルが巻かれたアスパラガス=スーパー casa rica

紘起先生のクイズコーナー

Q:アスンシオンの家には、日本のほとんどの家に当たり前にあるものがありません。それはなんでしょう。答えは次回のお楽しみ。

ヒント・・・とても落ち着きます。

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

iQue tenga un buen día! (ケ テンガ ウン ブエン ディア) :よい1日を!

朝出会った人やタクシーを利用した後などに言われることがあります。別れ際に、相手のこれからの一日の幸運を願ってこのように声をかけます。

次回について

今回は、食レポの第二弾を紹介します!

田幸小の皆さん、いよいよ「ポプラっ子発表会」本番ですね。

練習の成果を生かし、自分たちが伝えたい思いをしっかりお客さんに伝えられるよう頑張ってください。アスンシオンから応援しています!

Chao chao!nos vemos!